

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和元年度 第7回 栃木東部地域会議
開催日時	令和元年11月27日 開会18時30分 閉会20時20分
開催場所	栃木市国府公民館 小会議室
出席委員氏名	荒川 直巳、出井 康夫、大橋 哲夫、大武 真一、大山 恵久、柏崎 桂二 柏崎 章吉、島田 研、千葉 将人、内藤 實、中澤 健次、穂坂 孝司
欠席委員氏名	藪田 弘子、竹澤 克元、藤本 紀子、渡辺 裕
事務局職員職氏名	栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長 中嶋 美佐、 大宮公民館長 大橋 勝造、国府公民館主査 田中 賢太
その他出席者等	財務部市民税課長 野中 守 生涯学習部文化課副主幹 早乙女 透 一般財団法人とちぎメディカルセンター広報部長 高久 敏之
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度市県民税申告相談会会場の変更について（報告） ・地域予算提案事業について ・その他 タウンミーティングについて
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	1 開会
	中嶋 センター所長
	2 会長あいさつ
	大橋哲夫 会長 <p style="margin-left: 2em;">台風による水害から一月半経ったが、未だに避難所が開設されるなど当初予想していたよりも被害が大きく、市役所をあげて対応していると伺っております。我々も予定に従って会議を進めていきたいと思っております。</p>
会長	・本日の出席委員数をセンターから報告願います。
センター	・本日の出席者は12名で、委員総数16名の過半数を満たしているため、会議は成立していることを報告します。
会長	・センターの報告通り、本日の会議は成立している事を確認しました。

3 議事	
	(1) 令和2年度市県民税申告相談会会場の変更について (報告)
会長	・説明をお願いします。
市民税課	・【資料1により令和2年度市県民税申告相談会会場の変更について説明】
会長	・ご質問等ありましたらお願いします。
委員	・特になし。
会長	・質問が無い様ですので、議事は終了とします。
	(2) 予算提案事業について
会長	・センターより説明をお願いします。
センター	・【資料2により地域予算提案事業について説明】
文化課	・【「下野国庁跡リノベーション事業専門家会議」の経緯・進捗状況等について説明】
委員	・古学や歴史学の専門家を集めた会議との事だが、年1回の会議の結果待ちでは何も出来ない。それで良いのか。結論を早く出してもらわないと、地元が望む下野国庁跡の観光地化等が進んでいかない。ダメならダメと言うべきだ。
委員	・いつまでに結論を出すといったスケジュールが無いとおかしい。ただ会議をやっているというだけでは困る。
委員	・会議の結果はどのようなものか。
文化課	・第1回会議の結果は、下野国庁跡については第1～39次調査が終了したので、それらを統合した調査報告書が必要であるという事と、当時調べ切れなかった学術的な掘下げ研究が必要だという事が複数の委員から出された。
委員	・国庁まつりが今年度で20回目を迎える訳だが、それを後世に引き継いでいく必要がある。そのためにも会議の内容を教えてほしい。
委員	・「リノベーション」とはどういう意味か。何が目的か。着地点がどこにあるのか教えてほしい。
文化課	・下野国庁跡の保全と、保全する計画を立てるのに必要な裏付けとなる専門的な観点からの議論が、専門家会議の目的である。最終的な目的は、史跡の本質的な価値を後世に伝えていかななくてはいけないので、そのためにどういった施設で、どういった調査方法が今後使えるのかを目指している。
委員	・将来的には、文化庁の補助金等を入れて整備をする事を前提で考えているのか。
文化課	・市の教育委員会が確保できる予算は少ないので、大規模な整備を行う際には文化庁の補助金等を入れる事を考えていかないといけない。
委員	・私は国庁の宮野辺神社の役員をしており、正殿が神社の下にあると聞いている。発掘作業はもう十分にやったと思う。復元するにしてもしないにしても、早く結論を出して、計画を立ててもらいたいというのが地元の願いである。
委員	・国庁跡というのは全国的に見ても貴重であるし、全国から客が来るような、市の観光資源の目玉になりうると思う。
委員	・吾妻古墳は前方後円墳であるが、前方部分は栃木市、後円部分は壬生町と2市町に跨っているが、現場に行くと壬生町の看板ばかりである。そういう事も含めて、文化財を栃木市でももっとPRするべきだ。
委員	・皆川城跡を整備した際は県の事業を活用した。様々な補助の活用を、真剣に検討すべきだ。

文化課	・色々なご意見を頂戴し、ありがとうございました。我々が事業を進めるためには、地元からの声がないとできないのでこれからもご支援をお願いします。
会長	・「下野国庁跡リノベーション事業専門者会議」についての質疑は以上とします。引き続き、地域予算提案事業について検討します。現在の合計金額はいくらでしょうか。
センター	・「文化財案内看板整備事業」を除いた事業の合計は585万円です。同事業については、前回会議で下野国庁農村広場の看板移設が実施不可と説明しましたが、大神神社についても張替えではなく移設を要望するとの事でした。担当課の文化課から、市の事業で神社などの宗教に関わる看板を作成する事は、政教分離という観点から現在は難しいとの事でした。これらの理由から実現不可と判断する事から、同事業を除いた4案について検討していただきたいと思います。
委員	・観光協会等としては建てられるのか。
委員	・将来的にも神社の看板は出来ないのか。村檜神社（岩舟町小野寺）の案内看板は市で作成しているではないか。おかしいではないか。
委員	・「文化財案内看板整備事業」では敷地内看板設置が難しいとの事だが、国庁跡への案内看板が欲しい。国庁へ行きたい人が、大きな看板が無いと気付かずに素通りされてしまう。既存看板は小さく場所も悪く、色褪せていて気付いてもらえない。
委員	・文化課で「後世に残したい栃木市の文化資源48選」が発行されているが、それについて統一した看板を新しく作成して欲しいと要望しているが、現状は合併前の旧市町で作成した古い看板をそのまま使っているだけであり、冊子を発行しただけ。アクセス看板と内容看板を作ってほしい。下野市や壬生町と比べると、栃木市は文化財の宣伝が遅れている。恥ずかしいと思う。
委員	・下野国庁跡への大きな案内看板を、県道などに4箇所設置してほしい。
センター	・次回会議に案が出せるようにします。
委員	・東武新栃木駅東口ロータリーの清掃はどこがやっているのか。自治会ではやっていないと思うが。
委員	・ロータリーが出来た当初は東武鉄道で行い、市が管理するようになってからは業者に発注していたりしたようだ。資料にも有る様に地元2自治会やクリーン推進員、まちづくり協議会から管理は受けられないと言われた。受入れ先が見つからない場合は、私が責任をもってやりたいと思っている。
会長	・引き続き検討という事にしたいと思います。
委員	・「学童保育備品購入事業」についてだが、3学童を運営しているNPO法人へ備品貸与になるが、大宮北小は公設公営なので今回の事業では備品の貸与はないのか？
センター	・保育課を通じて要望調査をしたが、要望はなかったと報告を受けている。
委員	・貸与とは言っても提供に近いと思う。貸与規則などを決めて、条件を示してほしい。

<p>会長</p> <p>しもつが</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>しもつが</p> <p>委員</p> <p>しもつが</p> <p>委員</p> <p>しもつが</p>	<p>(3) その他 タウンミーティングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご説明をお願いします。 ・【持参した資料により説明】 ・ご説明いただきましたが、ご質問等あればお願いします。 ・メディカルセンターの経営状況がどうなっているか、総合的な病院として医師が揃っているか、出前講座の内容について教えてほしい。 ・経営状況については 2018 年度に始めて黒字を計上した。医師は 56 名程がいる。耳鼻科や眼科については非常勤医師で対応している。出前講座については、テーマや時間の要望があれば対応する。 ・駐車場が狭く、入るのに 30 分以上待つこともある。改善してほしい。 ・周辺農地を駐車場にする予定であり、農地転用の許可待ちではあるが、1 年くらい先になる見込みである。 ・総合病院という事だが、産婦人科はいつできるのか。 ・大川市長からも要望は頂いている。委員会を開いて相談しているが、未定である。
	<p>4 その他</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川委員の退任について ・「年末の交通安全県民総ぐるみ運動」について
	<p>5 閉会</p>